

酒々井町

郷土研究会会報

第104号

平成14年4月1日
酒々井町郷土研究会
広報部

ムサカリ絵馬

青木朝次

山形市付近に最上三十三観音の札所に若松観音寺がある。その伽藍の内にムサカリ絵馬をおさめた堂がある。この地方では嫁を迎えることをムサカリという。

なにかの理由で夭折した男児を憐れんでせめてあの世で結婚出来るようにと、残された親が花嫁と一緒に姿を描いた絵馬を奉納した。これをムサカリ絵馬という。

かつては専門の絵師もいたらしい。現在残っている古い絵馬には幕末・明治初期のものも見られる。

商家の親が納めたと思われるものにちよん鬻の息子が行商の旅から帰ったような姿で丸鬻の妻と幼子を伴っている。それを迎える父母はすでに頭に霜を置く年齢に描かれている。

あの子が生きていたらこの絵馬のよ
うな姿が見られたはずだという親の
思いが伝わってくる絵馬である。教
からいえば戦中戦後の絵馬が圧倒的
に多い。若い兵士(写真)が花嫁

(絵または人形)と並んでいる絵柄
が目立つ。薄暗い堂内でこのような
絵馬をながめてみるとこちらまで切
なくなってくる。このような絵馬を
奉納している姿を他人に見られると
願いが届かなくなるといわれ夜中に
こっそりと奉納したといい伝えられ
ている。

このムサカリ絵馬には個人の深い
悲しみがこめられているので写真に
とって公開したりすべきものではな
い。しかし現在ののように年若い人々
が命を粗略に考える時代にはこのよ
うな悲しみのこもる絵馬を見せて残
された肉親はこれだけ長く悲しみを
引きつり、せめてあの世での幸福を
願ったのだと教えたほうがよいのか

も知れない。少し離れた津軽地方で
もこのような堂がある。無数の人形
が並んだ堂内には男の子の写真の横
に花嫁人形やフランス人形が立って
いる。あまりにも数が多いので鬼気
迫るものがある。海外のベトナムで
も戦死した息子の墓に老夫婦が人形
を供える風習があるとか。親の子を
思う気持ちは何処も同じと思われる。



大東亜戦争で亡くなった人は酒々
井町だけで一二九人も多きに及ん
でいる。酒々井町にもこのような風
習があったらどこのお堂にもムサカ
リ絵馬がところ狭しと奉納されてい
たのではないだろうか。

七草粥を食べて

酒々井町教育委員会
社会教育課長

細川 都紀人

郷土研究会の正月の年中行事となつて七草粥を食べる会に久しぶりに出席させていただき、懐かしさと共に盛会さに驚かされました。

かつて、私が教育委員会事務局の職員として郷土研のお手伝いをさせていたときは、現在、社会福祉協議会の事務所がある青年会議所が郷土研の活動の場であり、総会その他の会合を行っていました。昭和三十年代に造られた建物ですから、当時でも既に歩くと床がギシギシと鳴るような状態の狭い施設で、会員の皆さんが作った料理を会議室で賑やかに食べたことが思い出されます。受付脇に展示された七草の実物は、採取に苦勞したとのお話を聞き、会報百号発行記念として編集された『酒々井町郷土研究会二十五年の歩み』の昭和五十二年の記事に「ほとけのざ」が無くて佐倉市まで取りに歩いたとの記述があり、当時すでに

野の草が開発で無くなりつつあることが伺えます。

一つの行事を通して郷土の文化が解る郷土研の活動を、役員さんを中心にこれからも末永く、続けていただきたいと念願致します。

昭和六十年は、何故か『小豆粥を食べる会』が開催されていますが、ことの顛末を知っている方がおられましたら教えて下さい。

西新井方面見学会

執行正勝



十二月五日晴れ曇り会長以下三名西新井大師駅に着く。門前町の商店街を通り山門・寺全体を守護する仁王像右開口像(呵形) 那羅延金剛、左閉口(吽形) 密迹金剛が迎えてくれる楼上には江戸後期の建立で五智如来、大日、宝生、阿弥陀、不空成就、阿闍如来が安置されている。左横に昔からいぼ取り地蔵といわれている塩地蔵尊がある。さらに行く

三匠堂の一階に八十八体の大師堂像、二階に十三佛、不動明王・釈迦如来・文殊菩薩・普賢菩薩・地藏菩薩・弥勒菩薩・薬師如来・観音菩薩・勢至菩薩・阿弥陀如来・大日如来・虚空蔵菩薩・阿闍如来、三階に五智如来が安置されている。六角堂を見て正面が西新井大師で弘法大師自ら御開創になった関東随一の霊場である。そして真言宗豊山派に属し五智山遍照院聴持寺が正しい名称である。平安時代大師が十一面観音尊像のお姿を刻みご本尊とされた。このご本尊を持国天、増長天、広目天、多聞天四天王がお守りしている。中央左に阿弥陀三尊(善光寺式)、中央右に薬師如来(藤原時代)がある。境内は大変広く水の綺麗な泉水があり奥の院、十三重宝塔等多数の諸堂諸佛を巡拝し早い昼食をとる。

それからのおんびりと歩く途中、七分咲きの五色桜を眺め約四十五分て血沼山永昌院不動尊に着く。本堂にある御前立不動明王像(六尺三寸)は樺の一木彫りてその立派さには圧倒された。住職の説明を聞き帰路につく。今回は佛像名を主体に書いてみました。

北条氏ゆかりの寺へ

初詣で

久我かず子

久々の参加。朝の早いのが苦手でなかなかというところ。目覚めた時の空は雲が多かったが電車が走りだした頃は青空が広がり朝日がまぶしい程だった。沿線の景色も目新しく見えた。

北鎌倉の駅には我々と同じような格好の人達があふれていた。

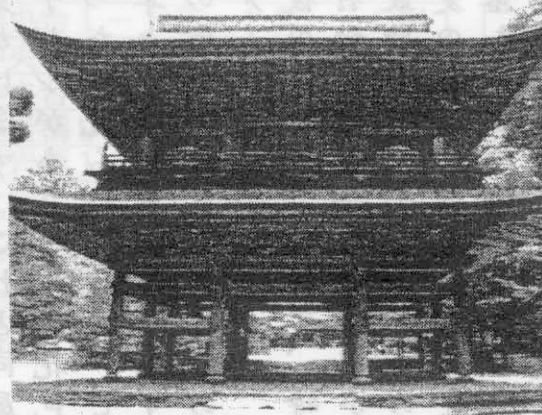
まず円覚寺。境内の図面と丁寧な説明を有難く頂いて参拝。早朝といっても九時を過ぎたばかりの鎌倉の朝は頬や手が冷たい。まるで氷室の中みたい。洪鐘での温かい甘酒にホッとする。寒中の梅の蕾も開き、ろう梅のすける様な黄色、まんさくの花、椿、水仙、寺院ばかりでなく道々の家々にも!

円覚寺、東慶寺、建長寺は昨年のある大河ドラマの北条氏ゆかりの寺々である。いづれも広い境内と塔頭を持ち参詣人の絶えぬところであるが、午前中のせいも人も少なくてゆつくりと廻れたのはよかったと思う。

円応寺の間魔大王では和尚の説明があり、皆恐れ畏まって十王様お一人お一人の前の説明書を見て廻った。昼近くの八幡宮あたりは想像して

いた通りの人出で、解散後、自由参拝となり、お連れの方々三三五五にて見物、昼食、ショッピングと午後

円覚寺



課外授業に参加して

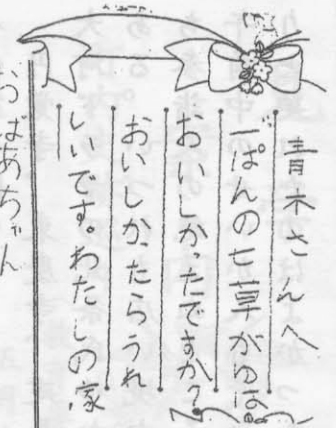
丸山正義

今年もまた、大室台小学校の課外授業として、一月に「昔遊び」(一年生)・二月には「七草粥作り」(二年生)・「藁草履作り」(三年

生)の行事がありました。郷土研では数年前から役員を中心に講師を派遣し児童との触れ合いを通じ指導・教育のお手伝いをしてきているのと、私も昨年から参加させてもらっています。

「昔遊び」は竹馬・独楽回し・凧揚げ・羽根突き・綾取りの六種類で、これらは遊びの原点とも言え、遊びの基本が詰まっております。昨今の無気質なテレビゲームにはない人間的な温もり、身体を動かすことの楽しさ、自然との調和があります。

また藁草履作りでは、「先生」と呼ばれながら子供達の中に入り一緒に汗を流し、触れ合う中で心を通わせ喜びと感動を共有しながら子供達の真剣に取り組む姿、出来た時の喜びの顔、片足だけだと自分で作った藁草履を履いて藁の感触を実感し飛び跳ねている様子などを見ると、心のそこから嬉しさが込み上げて来、また是非来年も子供達とともにこの感激を味わってみたく、次回はお自分自身腕を磨き、子供達に上手に教えられるよう頑張らなくてはと感じた課外授業のお手伝いでした。



ヒナゲシと テイカカズラ

亀井香久乃

桜の季節が終わると、庭先や路傍に朱赤色の可憐な花・ナガミヒナゲシをよく見かけます。これと同属で類似のヒナゲシがあります。花色は緋色でめつたに見られませんが、これは虞美人草という別名があります。夏目漱石の作品・虞美人草はこの雛罌粟をイメージした小説です。中国前漢最後の紀元前二〇四年、時の勇将・項羽対劉邦の決戦で項羽が破れ非業な最期を遂げました。その後項羽の最愛の女性虞美人は、日夜泣き暮らし落ちた涙が雛罌粟になったと中国の説話で有名です。

また虞美人草のヒロイン藤尾はわがままな情熱美人で雛罌粟を愛したので題材にしたようです。雛罌粟の実は丸く、長実雛罌粟は名の通り長実です。両花及びポピーは共にケシ科ですが、アヘンは採れません。無毒です。近くの雑木山の立ち木に、四季を通じて常緑のまま絡み付いている定家葛があります。花は初夏の

頃、直径三センチほどのスクリュウのような、ねじれた白い花です。付着根は逞しく樹木以外の岩にまで這い上ります。定家葛とは、名の示す通り百人一首で有名な藤原定家に由来します。

能の演目に、定家があります。これは鎌倉時代前期、院政をほしいままに誇った後白河天皇の皇女・式子内親王に定家は熱烈に恋慕しましたが、身分のちがいが結婚は許されず、悲恋のまま内親王は他界しました。それから四十年後定家も世を去りました。時節を経て式子内親王の墓石に幾重にも絡みつくと葛を見た人々は、在世で遂げられぬ定家の想いが怨念の葛となり墓石を抱きしめている。故に定家葛と呼ぶようになりました。



酒々井町郷土研究会平成14年度役員・運営委員名簿

役名	氏名	住所	電話
顧問	沖田善三郎		
"	田村直子		
"	会田秀雄		
会長	青木朝次		
副会長	上田悦子		
"	高木正浩		
会計	福田照子		
"	福田芳江		
監事	福田豊吉		
"	筋玉子		
運営委員	鶴岡知子		
"	上野和子		
"	寺本恵美		
"	有田政勝		
"	丸山正義		
"	行武政市		
"	執行正勝		
"	佐藤照子		
"	矢野三雄		
"	渡辺昌子		
"	浜口信義		
"	林芳子		
"	犬島正子		
"	久我かず子		
"	岡田利光		
"	古川国雄		
"	富沢勝		
"	木村雍子		
"	相京豊		
"	高橋喜重		
"	桜井徳三		

第二十六回定期総会報告

二月三日(日)午後一時三十分から中央公民館講堂において第二十六回定期総会が開催され、平成十三年度事業報告・決算報告が承認、平成十四年度事業計画及び予算案が可決され、総会は終了。ひきつづき戸村企画課長から「これからの町づくりありました。」というお話がありました。

郷土研日誌		
月日	内容	参加人員
12/27	会報発送	24人
1/10	監査	5人
1/18	昔の遊び(大室台小)	13人
1/20	名勝探訪	28人
/25	運営委員会	23人
/30	写真展準備	12人
2/2	史談会	18人
3	総会	106人
10	編集会議	6人
14	七草粥の会準備	8人
15	七草粥を食べる会	76人
16	七草粥(大室台小)	10人
18	木下街道下見	3人
19	古文書を読む会	10人
20	研修部会	10人
25	薬草履作(大室台小)	16人
26	編集会議	7人
27	佐倉方面下見	2人
3/2	史談会	11人
6	運営委員会	24人
8	木下街道	25人
15	百号記念誌作製	15人
16	"	13人
17	編集会議	5人
22	佐倉方面	31人

平成14年度事業計画 酒々井町郷土研究会

行	事	名	職	酒々井町郷土研究会																	
				1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12						
1	定	期	総	会	1	○															
2	会	報	発	行	4	○		○		○			○								
3	講座・	郷土史講座	1										○								
		史談会	7		○	○		○	○	○		○							○		
		町内史跡めぐり	1					○													
		古文書学習	9		○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		木下街道を歩く	2			○				○											
4	研修	一泊見学会	1					○													
		日帰り見学会	2			○													○		
		名勝探訪	4	○					○				○						○		
5	野草	野草観察会	2				○											○			
		七草粥を食べる会	1			○															
6	写	真	展			○															
7	役	員	会	・	運	営	委	員	会	5	○	○		○				○		○	

見学

案内

町内史跡巡り

(教育委員会後援)



五月十二日(日)

雨天代替五月十九日(日)

年に一度の行事も郷土研二十六年度の歳月を重ねれば、毎回歩いていの方々は酒々井町の文化文明を良く御理解されていると思われませんが、なかなかそうはいかぬというのが現状でしょう。

今年墨地区を歩きます。墨という地名は字「花の木」の地に落花の寸前の花びらが黛色に染まる桜樹があり須美染桜と称され、須美が村名となり時代を経て墨というようになりました。

神社、寺院、石像佛、石碑を通して道順としますが、その中に子弟を数多く教育された先人や伝説と化した面白い話を残した人物、文化を継承・無形文化財の墨の獅子舞、人々の生活・信仰など古道を歩きながら勉強しましょう。

そして東関東酒々井パーキングエ

リアを見学します。ここでは建設前の発掘調査で縄文時代の住居跡が見つかりました。遠い昔から人間にとって住みやすい所だったようですね。高速度路を走るクルマのみにあらず、脇の入口から利用出来るようになっています。このP・Aで自由昼食となります。行程は約八キロです。皆様ふるって御参加下さい。

一泊見学会

五月二十八日(火)

五月二十九日(水)

群馬・上毛野の里方面

宿泊先 磯部ガーデン

☎0271-3851008

新緑の頃、花とロマンを求めて出かけてみましょう。泊まりは「舌切り雀」の発祥の地として知られる磯部温泉です。

① 金山城跡

岩松明純が築城したとされる戦国時代の山城で難攻不落の堅城として名高い。現在も堀や石垣の一部が残っている。

② ぐんまフラワーパーク
四季折々の美しさを見せる赤城山麓の自然の中で花と緑に親しみましょう。

③ 上野国分寺跡

大正十五年に国の史跡に指定された。僧寺は東西約二二〇m、南北二三五mの広さをもち、周囲は築垣(土塀)で囲まれていた。中央には金堂と七重塔が建てられていた。現在、群馬県が整備中。

④ 上毛野の里博物館

一五〇〇年前の築造当時の姿を復元した前方後円墳・テーマ性のある博物館。上毛野はにわの里公園内にある。

⑤ 敷島公園・バラ園

前橋市内を流れる利根川と広瀬川にはさまれた広大な敷地を誇る公園。北関東を代表する大規模なバラ園。萩原朔太郎記念館などの施設がある。

⑥ 水沢観音

坂東三十三か所札所の第十六番目。水沢寺の開基は古く、推古天皇の時代とされている。壮大な本堂・六角堂・山門などが並び、参道には名物「水沢うどん」の店が軒を並べている。

名勝探訪

六月三日(月)
雨天代替六月五日(水)

富津方面

梅雨入り前の一日、富津のお寺と
国定公園を楽しみたいと思います。
内房線大貫駅を下車し、岩瀬不動
尊(最上寺)を参拝してバスで富津
公園に行きます。この公園は東京湾
に四キロも弓なりに突き出した半島
で、全体が公園となっており関東の
天ノ橋立ともいわれています。長く
突き出した砂の岬からは三浦半島観
音崎が、つい鼻の先に見えます。ま
た海浜植物群落があり、釣りやポー
ト遊びもできますので、一日を十分
楽しんで家路につきましょう。

ここから北へ向かい大森に入る。
大森の長楽寺には足利義満のころに
造られた梵鐘(県文化財)がある。
近くの鳥見神社には家光のころに再
建された本殿があり木彫りが見事で
ある。下総領支配の拠点として構え
られた大森陣屋はもう跡形もない。
国道を横断して右手の小道に入ると
上町の観音堂。ここからJR成田線
の踏切を渡ると間もなく利根川の土
手に出る。木下河岸跡には往時に軒
を連ねた旅籠や茶店、八人乗りの木
下茶船で賑わった頃を偲ぶ縁もない
が五回にわたって行徳から木下まで
の街道を歩いてきた充実感でゴール
イン!お疲れ様。

佐倉城址公園一帯

野草観察会

木下街道を歩く(5)

印西方面

六月十日(月)

雨天代替六月十四日(金)

千葉ニュータウンで消滅した街道
は印西の泉新田で復活する。

四月十一日(木)
雨天代替四月十三日(土)

今回は佐倉城址公園一帯を観察し
ます。行き慣れた所ですが先生やお
友達同士で歩いてみると新しい発見
があるかもしれません。お誘い合わ
せてお出で下さい

あとがき

桜花爛漫、花便りにのせて会報
一〇四号をお届けします。
桜を愛で日本人の心と歌によま
れるその心を思うとき、今の政官
財の癒着の無様さに、桜の花のよ
うに美しく清く潔しとなしはずこ
とが出来ないものかと良き政のあ
り方を願うばかりです。
二期目の行事について、会員の
皆様に少しでも喜ばれ満足してい
ただけるよう郷土研のスタッフ一
同誠心誠意頑張っております。盛
沢山の行事となっておりありますが、
どうか色々な行事に参加していただ
き楽しい時を過ごしていただだけ
ることを願いながら、お越しをお
待ちしております。

会計報告

七草粥を食べる会	¥14,215
収入	
会費	700円
参加人員	76名
700×76=	53,200円
雑収入	15,000円
	68,200円
支出	
品代	59,697円
諸費	7,315円
	67,012円
残金	1,188円

郷土研行事案内 平成14年4月～6月

<p>史談会</p>	<p>4月 休講</p>	<p>5月 11日(土) 13:30 公民館 「道が語る酒々井の歴史」⑦ 講師：高橋健一先生</p>	<p>6月 1日(土) 13:30 公民館 「道が語る酒々井の歴史」⑧ 講師：高橋健一先生</p>
<p>古文書を 読む会</p>	<p>4月 16日(火) 13:30 社会福祉協議会 「岡田家文書」</p>	<p>5月 21日(火) 13:30 社会福祉協議会 「岡田家文書」</p>	<p>6月 18日(火) 13:30 社会福祉協議会 「岡田家文書」</p>
<p>野草観察会</p>	<p>4月11日(木) 雨天代替4月13日(土) 集合時刻・場所：9:30 中央公民館 解散15:00 公民館 観察場所：佐倉城址公園一带 参加費：100円 持物：弁当 飲み物 敷き物</p>		
<p>町内 史跡巡</p>	<p>5月12日(日) 「墨方面」 雨天代替5月19日(日) 集合時刻・場所：9:00 中央公民館 (解散15:00) 公民館—東光寺—麻賀多神社(下台)—芝山道—大川戸(石佛) —藤兵衛の墓—六所神社—酒々井パーキングエリア(自由昼食) 高野台の観音堂—旧墨分教場—泉光院—下総屋(解散) *弁当・飲み物持参 約8キロ歩きます(コース変更の場合あり)</p>		
<p>一泊見学会</p>	<p>5月28日(火)～5月29日(水) 群馬・上毛野の里方面 申込受付 4月6日(土) 9:00～10:00 (中央公民館ロビー) 定員 45名 集合 7:50 会費 25,000円 宿泊先(磯部ガーデン ☎027-385-0085) 5/28酒々井(8:00)—湾岸幕張—小菅—金山城跡—桐生(昼食) —ぐんまフラワーパーク—上野国分寺跡—磯部温泉(泊) 5/29磯部温泉—かみつけの里博物館—敷島公園・ばら園・萩原朔太郎 記念館—水沢(昼食)—水沢観音—小菅—酒々井(18:00) キャンセル 実施日5日前迄 青木 (定員不足で催行出来ない場合もあります。皆様御参加下さい。)</p>		
<p>名勝探訪</p>	<p>6月3日(月) 富津方面 雨天代替6月5日(水) 集合 JR酒々井駅 7:45 (コース変更の場合あり) JR酒々井——JR千葉——JR大貫——最上寺(第32番岩 瀬不動尊)——富津国定公園・富津浜——JR大貫——JR 酒々井(17:30) *弁当・飲み物持参</p>		
<p>木下街道を 歩く(5)</p>	<p>6月10日(月) 印西方面JR酒々井駅7:45集合 雨天代替6月14日(金) JR酒々井駅——成田駅——木下駅——泉新田——大森 ・長楽寺——鳥見神社——印西市役所(自由昼食)——上町観音 堂——木下河岸跡——木下駅——成田駅——酒々井駅 徒歩 約8km 解散17:30 (コース変更の場合あり)</p>		